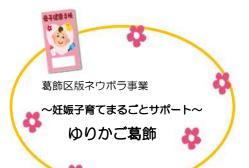
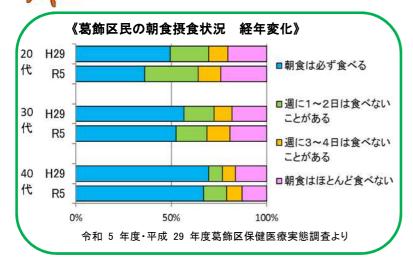
栄養ワンポイント情報







葛飾区民の朝ごはん ここが問題! _ュ

朝食を毎日必ず食べる人は、 いずれの年代も減少傾向。 特に 20 代の若い世代で減っている。

1 体重管理にイイ!

朝ごはん習慣は体重管理にお役立ち! 長時間の空腹は、ドカ食いとなり急 激な体重増加へつながります。 産後太り解消の為にも 朝食を食べる事が大切です。



朝ごはんでお腹の調子を整える! 朝ごはんを食べることで、大腸が元気 に働き、便秘解消に つながります。

2 母乳にイイ!

朝ごはんで 1 日の栄養バランスが整う! 母乳はママが食べたものからできています。 1 日 3 食食べることで、 必要なエネルギーや栄養素を 確保します。

5 目覚めがイイ!

エネルギー補給で体が目覚める! 脳や体内の臓器・筋肉に必要 な栄養素を送り届け、体全体 が目覚めます。 朝ごはんをとると、起床時間 が決まり、生活リズムも整います。

3 赤ちゃんにイイ!

スムーズに進みます。

家族が食べることで離乳食も順調に! 赤ちゃんはおよそ生後 9 か月で、1日3回 離乳食を食べるようになります。 産前から、家族が朝食を食べる習慣 をつけておくことで、離乳食も

6 心にイイ!

精神的なメリットが大きい! 朝ごはんの時間に家族との 会話が増え、心の安定につ ながった、という報告もあ ります。



朝ごはんにおススメ!レシピ

朝ごはんは何派? ご飯・パンに合うメニューを紹介







おにぎりや丼物!



2~3 人分作って家族で一緒に!



パンにプラス1品!



«具だくさんおにぎり»

| 材料 | 2~3 人分 |
|------|---------|
| しらす | 60g |
| 塩昆布 | 2~3 つまみ |
| すりごま | 大さじ 1 |
| ごはん | 3 膳 |
| やきのり | 適量 |

しらす・塩昆布・すりごまをごはんと混ぜ、にぎってのりを巻く。

★大葉を千切りにして混ぜると、風味が増します★

※チーズ・おかか・青のり・すりごま 鮭フレーク・青菜・すりごま

具のアレンジ可能です



«スクランブルエッグ»

| 材料 | 2~3 人分 |
|-----|--------|
| 卵 | 3個 |
| 牛乳 | 大さじ 3 |
| 塩 | 少々 |
| 砂糖 | 小さじ 1 |
| バター | 10a |

- ① バター以外の材料を混ぜ合わせる。
- ② 熱したフライパンにバターをひく。
- ③ 強火のまま①の卵液を入れる。
- ④ 周りが固まりかけてきたら、箸で中央に寄せながら全体を混ぜてふんわり仕上げる。



«たまご丼»

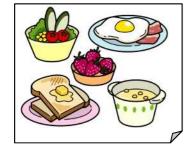
| 材料 | 2~3 人分 |
|-------------|--------|
| 卵 | 3個 |
| 玉ねぎ | 1/2 個 |
| 水 | 150cc |
| めんつゆ(3 倍濃縮) | 大さじ 3 |
| 砂糖 | 小さじ 1 |
| 刻みのり | 好みで |
| ごはん | 3 膳 |

- ① 卵をボールに割り入れ、溶きほぐす。
- ② 玉ねぎを薄切りにする。
- ③ 鍋に水・玉ねぎを入れ強火にかける。
- ④ 沸騰して玉ねぎが透明になってきたら、めんつゆ・砂糖を入れ、 玉ねぎに味が染み込むくらいまで中火で煮る。
- ⑤ 玉ねぎに少し色が付いたら溶いた卵を入れ鍋にふたをし、卵に 火が通ったら出来上がり。



| V | 材料 | 2~3 人分 |
|---|------------|-------------|
| | かぼちゃ(冷凍も可) | 1/6個(300g) |
| | ベーコン | 2枚 |
| | バター | 10 q |
| | 水 | 150cc |
| | コンソメ | 1個 |
| | 味噌 | 小さじ 1 |
| | 牛乳 | 300cc |
| | 塩・こしょう | 少々 |
| | | |

- ① かぼちゃは1口大、ベーコンは食べやすく切る。
- ② 鍋にバターを溶かし、中火でかぼちゃ・ベーコンを炒める。
- ③ 表面に火が通ったら、水・コンソメを入れて中火で蓋をして柔らかくなるまで煮る。
- ④ 味噌を溶き入れ、牛乳を加え温まったら火を消す。(沸騰は させないよう注意)
- ⑤ 味をみて、塩・こしょうで整える。





一日の始まり、朝ごはんのポイントは、主食・主菜・副菜がそろうことです。

乳製品やフルーツも摂れると、よりバランスが整います。

また、朝ごはん習慣をこれから始める場合は、食べやすいものや好きなものから始めます。

おにぎりやサンドイッチ、フルーツ・乳製品からチャレンジしましょう!